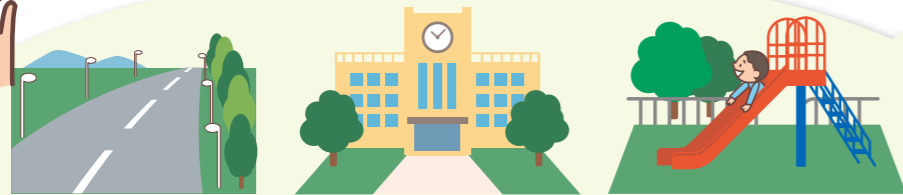


どうして借金するの？

市債発行の理由と市債残高

そもそも借金したお金は何に使われているの？



道路や学校、公園を造ったり、大きな施設を建てるために使っています。

札幌市の一般会計などの公共資産額
合計 3兆3,242億円 (平成26年度末時点)



札幌ドーム (事業費537億円)



札幌コンサートホール(Kitara) (事業費187億円)



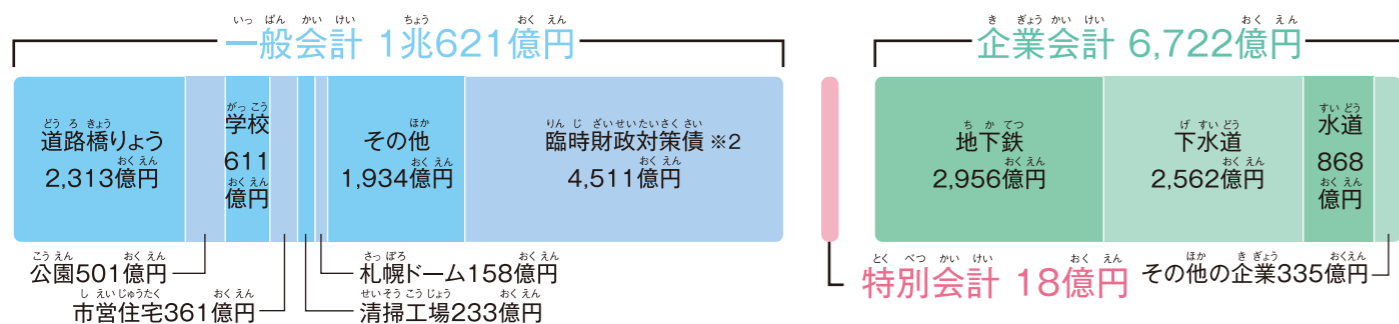
札幌駅前通地下歩行空間 (事業費163億円)

そうなんだ。でもどうして借金をして造らなくちゃいけないんだろう？

今までいくら借りて、何に使ってきたの？

借金の残高(※1)は、平成28年度末に、一般会計で1兆621億円、全会計で1兆7,361億円になる見込みです。その使い道は、道路や公園、学校、地下鉄、上下水道といった社会の基礎となる施設が中心です。他にも、札幌ドームや札幌コンサートホール(Kitara)、札幌駅前通地下歩行空間などの大きな施設もお金を借りて整備しています。近年は臨時財政対策債(※2)の残高が増えています。

平成28年度末市債残高見込み



合計 1兆7,361億円
市民1人あたり市債残高:88万8千円

※1 市債残高について、将来の返済に備えて積み立てたお金は、既に返済しているものとみなし、残高から差し引いています。
※2 本来、国が現金で交付すべき地方交付税の一部について、市が代わりに一時的に借金をしているものです。(詳しくは次のページ)

借金をしないで施設を建設すると…



建物は長く使うもの…



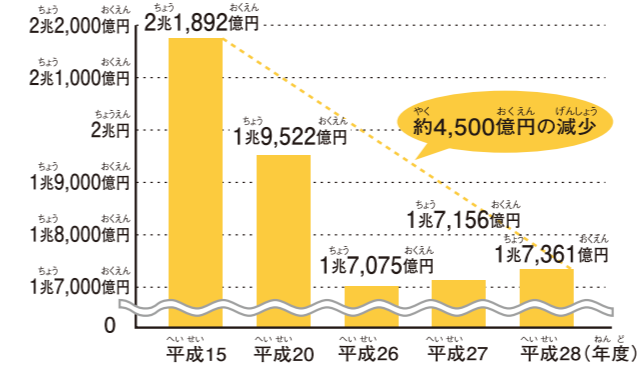
なるほど!でも借金をすると利子も払わなければならないよね。たくさん借金しておサイフは大丈夫なのかなあ?

バランスのとれた財政運営を行っていくためには、借金の額をコントロールすることが大切なんだ。次のページで、その取組を紹介するよ。

借金はちゃんと返しているの？

借りたお金は毎年計画的に返済しています。また道路や上下水道の施設を修理しながら長く使うことにより、新たに施設を造るための借入をできるだけ少なくして借金の残高を減らし、将来の返済の負担が大きくなりすぎないように努めています。

市債残高(全会計)



※市債残高について、将来の返済に備えて積み立ててきたお金は、既に返済しているものとみなし、残高から差し引いています。
※平成26年度までは決算額、平成27年度は現計予算額、平成28年度は当初予算額です。

臨時財政対策債って何？

施設建設のための借金とは異なり、本来、国が現金で交付すべき地方交付税の一部について、市が代わりに一時的に借金をしているものです。返済のためのお金は将来の地方交付税に加算されて交付されます。

市債の返済額と借入額(全会計)

